

この夏、哲学をはじめよう

第44回

夏期哲学講座

2024 8 | 24^土 13:30 - 25^日 16:10

人はどこから来てどこへ行くのか――

あなたの周りには、哲学する場があるでしょうか
哲学について考え、語り合う場があるでしょうか

今年で四十四年目を迎えるこの夏期哲学講座は
直に人と出会い、人と対話して、
生きた哲学を学ぶことのできる講座です。

「少し興味があります」という方から
「長年、哲学を勉強しています」という方まで、
どなたでも参加できます。

場所は、日本最初の哲学者・西田幾多郎の故郷
日本海をのぞむ「哲学の博物館」
安藤忠雄が設計した、考えるための空間です。



石川県

西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126

石川県かほく市内日角井1番地

TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320

Email nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

<https://www.nishidatetsugakukan.org/>

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

交通アクセス

- 車利用：北陸自動車道「金沢東I.C.」～約20分
のと里山海道「白尾I.C.」～約5分
- 電車利用：JR金沢駅～IRいしかわ鉄道経由・
七尾線(約25分)～宇野気駅

- 日時 令和6年8月24日(土) 13:30 ~ 25日(日) 16:10
■会場 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1番地)
■定員 40名 ※定員に達し次第締め切り、キャンセル待ち受付となります。
■受講資格 18歳以上

- 受講料 〔一般〕10,000円 〔学生/かほく市民〕6,000円
※25日の昼食がつきます。
※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。

- 懇親会 24日18時より、下記会場で懇親会を行います。参加希望の方は、懇親会費5,000円を、受講料とともにお振込みください。
※締め切り後のキャンセル返金はいたしかねますのでご了承ください。

食楽庵かほくさんまる 〔JR宇野気駅から徒歩5分〕

■宿泊方法

- ◎ 旅館 旅館は各自でご予約ください。参考までに、市内の高松駅最寄りの宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合わせください。

河北亭 (076) 281-0013 〔JR高松駅から車で約5分、徒歩約15分〕

※なごみ亭(旧さか井や旅館)は震災支援者受け入れのため、新規の予約受付を停止しています。
(6月1日時点)

■交通アクセス

哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。

- ・自動車:北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。
のと里山海道(白尾IC)から約5分。
- ・電車:JR金沢駅から、IRいしかわ鉄道経由・七尾線で宇野気駅へ約25分。
宇野気駅から徒歩約20分(タクシー5分)。
- ・飛行機:小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

- ◎ 宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。
時間の都合が合うようでしたらご利用ください。

| | 〔行き〕河北亭発 | 〔行き〕宇野気駅発 | 〔帰り〕哲学館発 |
|--------|----------|-------------|----------|
| 24日(土) | — | 12:05、13:05 | 17:45 |
| 25日(日) | 8:10 | 8:30 | 16:30 |

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口(銅像側)になります。
時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

- 申込締切 令和6年7月31日(水)
※定員に達し次第締め切り、キャンセル待ち受付となります。

■申込先、お問合せ

石川県西田幾多郎記念哲学館
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地
TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

■ 申込方法

下記①～⑫の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵送、メール、FAX可)。
申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。 (*マークは、いずれかをご記入ください)

- ①名前(ふりがな) ②電話番号 ※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。
③郵便番号・住所 ④性別 ⑤年齢 ⑥参加回数
⑦職業 ※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。
⑧「宇野気駅～哲学館」の無料送迎バスを *利用する／利用しない
⑨25日朝「河北亭～哲学館」の無料送迎バスを *利用する／利用しない
⑩参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)
○(24日)研究会Ⅰ……*第1希望 A / B / C、*第2希望 A / B / C
○(25日)研究会Ⅱ……*第1希望 A / B / C、*第2希望 A / B / C
※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。
⑪最近興味のある事・本、参加動機などを100字程でお書きください(受講生に配布する冊子に掲載します)。
⑫24日の懇親会に *参加する／参加しない

※上記項目のうち、都道府県および①⑥⑩⑪は、受講生に配布する冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。
また、この個人情報は、哲学館で開催される講座に関する当人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。

◇受講生による研究発表が25日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。
※発表時間はお一人15分以内となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

| | 講師 | 8月24日(土) 研究会Ⅰ | 8月25日(日) 研究会Ⅱ |
|---|---------|--|--|
| A | 美濃部 仁 | フィヒテにおける絶対的なものと相対的なもの | わび茶における無一物の心と道具の美 |
| | 講師のコメント | フィヒテは、初期には自我を出発点として世界を説明していますが、1800年以降は、その自我を絶対者の「像」あるいは「現象」と考えるようになります。西田とも親近性をもつ後期フィヒテの自我理解について考えます。 | 「わび茶」は質素を旨とする茶の湯ですが、道具の美に無関心であるわけではありません。わび茶は独自の美意識をもっています。「心の文」や『南方録』を顧みながら、わび茶における道具とその美について考えます。 |
| B | 白井 雅人 | 善悪の研究 | 後期西田哲学における預言者的実存 |
| | 講師のコメント | 世界を「善なるもの」と考えるような世界観があります。そのような世界では「悪」はどのように位置づけられるでしょうか。西田幾多郎『善の研究』、旧約聖書、薬物依存症患者のインタビューから善と悪の問題を考えます。 | 西田幾多郎が、最晩年の宗教論で預言者を高く評価していたことは知られています。では、預言者とはどのような存在で、預言的に生きることは可能なのでしょうか。西田幾多郎の宗教論を社会との関りで考えていきます。 |
| C | 酒井 梨帆 | 西谷啓治「宗教と非宗教の間」を読む —「遊び」とは何か— | 西谷啓治のニーチェ理解 |
| | 講師のコメント | 西谷は、エッセイ「宗教と非宗教の間」において、「遊び」ということには人間の本質に係わる深い意義が含まれていると述べています。西谷のテキストを参照しながら、それがどういうことか考えたいと思います。 | 西谷は、青年時代からニーチェの哲学に関心をもっていました。本講座では、「ニーチェに於けるニヒリズム＝実存」を参照し、ニーチェにおけるニヒリズムの三段階を西谷がどのように理解したかを見たいと思います。 |

※研究会で使用するテキストは、主催者側で用意します。

第 44 回夏期哲学講座 日程と講座内容

| 時間 | 8月24日(土) | 8月25日(日) |
|-------|--|---------------|
| 9:00 | *受付は随時行います。 受講生は受付後、展示室への入室ができます。 | 8:45 |
| 10:00 | | 研究会Ⅱ (選択制) |
| 11:00 | | 11:45 |
| 12:00 | | 昼食 |
| 13:00 | 12:30 | 12:50 |
| | ビデオ上映「西田幾多郎」 <small>(希望者のみ)</small> | 研究会Ⅰ (選択制) |
| | 13:30 | 13:50 |
| | 開講式 | 休憩 |
| 14:00 | 13:45 | 14:00 |
| | オリエンテーション・写真撮影 | 公開講演会 |
| 15:00 | 14:30 | 15:30 |
| | 研究会Ⅰ (選択制) | 15:40 |
| 16:00 | 17:30 | 閉講式 |
| 17:00 | 18:00 | 16:10 |
| 18:00 | 懇親会 <small>(希望者のみ)</small> | |
| | 19:50 | |

公開講演会

※受講生以外も聴講できます。(参加費 500 円)

8/25 (日) 14:00 ~

「世界に生れてその世界に働き、
またその世界の中に死んで行く」ということ
——後期西田の思想——

美濃部 仁 (明治大学教授)

西田は1936年の講演で「私」のあり方をこのように性格づけているが、この言葉は「私」を「世界」から考える西田の立場をよく示している。この言葉で西田が言おうとしていることをなるべくはっきりさせるを試みる。

講演会・研究会講師プロフィール

美濃部 仁 (みのべ ひとし)

明治大学国際日本学部教授。京都大学で上田閑照、ヴァンターナルでW. ヤンケに学ぶ。論文に「フィヒテの現象概念」、「西田における絶対無と個」、「火は火を焼かない—西谷啓治における「空」と「回互」等。西田哲学会会長、国際フィヒテ協会副会長。心茶会会長。

白井 雅人 (しらい まさと)

上智大学で学ぶ。立正大学ほか非常勤講師。専門は日本哲学。共著『今を生きる滝沢克己—生誕110周年記念論集』、論文「人格の成立する場所—「神の声」と「私と汝」」、「神なき時代の宗教—後期西田哲学における宗教の問題」等。

酒井 梨帆 (さかい りほ)

明治大学で学ぶ。明治大学兼任講師。専門は西谷啓治、ニーチェの哲学。博士論文「西谷啓治の「空」の立場における主体」、論文「西谷啓治のニーチェ理解—「自己」の没落と「自己」の自己超克」、「西谷啓治のニーチェ評価—『ニヒリズム』と『宗教とは何か』」等。